

◆教育相談関連

●学術論文

- 1 「青年期における社会性および自我同一性の発達と家族との心理的距離の関係について」
平成 21 年 3 月，九州看護福祉大学大学院看護福祉学研究科精神福祉学専攻修士論文
- 2 「援助チームで取り組んだ不登校の高校生事例ー父親の役割回復とシステムズ・アプローチの視点を取り入れてー」，平成 25 年 7 月，学校教育相談研究第 23 号，発行：日本教育相談学会，（査読審査論文）

●学会発表

- 1 日本教育カウンセリング学会 第 12 回鹿児島大会 事例研究発表，平成 26 年 11 月 2 日
「援助チームで取り組んだ不登校傾向の高校生事例ー家族システムの視点を取り入れてー」

●教育雑誌等

- 1 「特集 1 若い先生に教育相談の魅力を伝える『チーム援助の実践を通して教育相談の魅力を伝える』」，平成 23 年 10 月，月刊学校教育相談第 25 巻第 12 号，ほんの森出版
- 2 「特集 1 新年度，やる気を盛り上げ，キープする工夫『やる気を支える四つの要因を踏まえて授業を組み立てる』」，平成 24 年 4 月，月刊学校教育相談第 26 巻第 5 号，ほんの森出版
- 3 「特集 2 かかわりをもう一步深める学びのヒント『システムズアプローチをベースにした学校教育相談の試み』」，平成 24 年 8 月，月刊学校教育相談第 26 巻第 10 号，ほんの森出版
- 4 「特集 2 別室登校からの教室復帰をどうサポートするか『支援スタッフのコラボレーションで教室復帰をサポート』」，平成 25 年 10 月，月刊学校教育相談第 27 巻第 12 号，ほんの森出版
- 5 「特集 2 困難な事例のケース会議，突破口を開くヒント『チーム会議とコーディネーション会議で取り組みを組織化』」，平成 26 年 11 月，月刊学校教育相談第 28 巻 13 号，ほんの森出版
- 6 「特集 1 かかわり続けるモチベーションをどう保つか，『「やりたい」という内的欲求に従って行動する』」，平成 28 年 1 月，月刊学校教育相談第 30 巻 1 号，ほんの森出版
- 7 「特集 心のケアの準備 どこでも起こり得る大災害に備えて 『熊本地震における心のケア どんな準備をされていて，どう対応したか』」，平成 28 年 10 月，月刊学校教育相談第 30 巻 12 号，ほんの森出版

8 「特集1 日々の自分を支える, この言葉 『花紅柳緑』, 平成30年1月, 月刊学校教育相談第32号, ほんの森出版

9 「特集1 子どもに届ける「ちょっといい話」の集め方, 伝え方 『ちょっといい話を通して行動規範を伝える』, 平成31年1月, 月刊学校教育相談第33巻1号, ほんの森出版

◆生物教育関連

1 平成26年度生物部会総会および研究大会にて会員発表「実践発表 アクティブラーニングによる生物の授業～グループの協同により教育効果を高める試み～」

熊本生物No.56（熊本県高等学校教育研究会生物部会・熊本県高等学校生物研究会編）に記載

2 平成27年度生物部会冬季教師研修会にて会員発表「実践発表 生物におけるディープ・アクティブラーニングを目指して～グループによるコンセプトマップ作成の試み～」

熊本生物No.57（熊本県高等学校教育研究会生物部会・熊本県高等学校生物研究会編）に記載

3 平成28年8月 日本生物教育界（JABE）第71回全国大会熊本大会 第4分科会「高校生物におけるアクティブラーニング型授業体験および意見交換」において「ジグソーコンセプトマップ法（JCM法）」を使ったワークショップ実施。

熊本生物No.58（熊本県高等学校教育研究会生物部会・熊本県高等学校生物研究会編）に記載